

製品名: 切断型 MASP-1 HC (R448) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09007**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	MASP1
別名	MASP1; CRARF; CRARF1; PRSS5; Mannan-binding lectin serine protease 1; Complement factor MASP-3; Complement-activating component of Ra-reactive factor; Mannose-binding lectin-associated serine protease 1; MASP-1; Mannose-binding protein-asso
遺伝子 ID	5648.0
SwissProt ID	P48740
免疫原	抗血清はヒト MASP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 399-448

背景

マンナン結合レクチンセリンペプチダーゼ 1 (MASP1) Homo sapiens この遺伝子は、補体活性化のレクチン経路の構成要素として機能するセリンプロテアーゼをコードしています。補体活性化経路は、自然免疫と獲得免疫応答において重要な役割を果たしています。コードされているタンパク質は、チモーゲンとして合成され、レクチン経路の病原体認識分子、マンノース結合レクチン、およびフィコリンと複合体を形成することで活性化されます。このタンパク質は補体活性化に直接関与していませんが、補体 C2 を切断するか、別の補体セリンプロテアーゼである MASP-2 を活性化することにより、補体活性化の増幅因子としての役割を果たしている可能性があります。コードされているタンパク質は、フィブリノーゲンや因子 XIII も切断できるため、凝固に関与している可能性があります。セリンプロテアーゼドメインを欠くこの遺伝子のスプライスバリエーションは、補体活性化経路の阻害剤として機能します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生成されます。[酵素調節:SERPING1 および A2M によって阻害されます。]、機能:補体のレクチン経路で機能し、糖鎖パターンを介して病原体を認識し、それらを中和することで、自然免疫において重要な役割を果たします。レクチン経路は、マンナン結合レクチン (MBL) およびフィコリンが糖鎖に結合するとトリガーされ、関連するプロテアーゼ MASP1 および MASP2 が活性化されます。エンドペプチダーゼとして機能し、MASP2 または C2 を活性化するか、補体反応の重要な成分である C3 を直接活性化する可能性があります。アイソフォーム 2 は、補体のレクチン経路の活性化を阻害する効果があるか、IGFBP5 を切断する可能性があります。、PTM:プロテオソームの自己タンパク質分解処理により、ジスルフィド結合と一緒に保持された重鎖と軽鎖で構成される活性酵素が生成されます。アイソフォーム 1 は自己タンパク質分解プロセスによって活性化されますが、アイソフォーム 2 は活性化されません。、PTM: N-グリコシル化されています。一部の N 結合型グリカンは複合型です。、PTM: 鉄および 2-オキシグルタル酸依存性のアスパラギン酸およびアスパラギンの 3 位水酸化は、EGF ドメイン内で (R) 立体特異的です。、類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属します。、類似性: 1 つの EGF 様ドメインを含みます。、類似性: 1 つのペプチダーゼ S1 ドメインを含みます。、類似性: 2 つの CUB ドメインを含みます。、類似性: 2 つの Sushi (CCP/SCR) ドメインを含みます。、サブユニット: ホモ二量体。オリゴマーレクチン MBL2、FCN2、および FCN3 と相互作用し、C3 を活性化することで補体のレクチン経路を誘導します。SERPING1 と相互作用します。、組織特異性:主に肝臓で発現される血漿のタンパク質。、

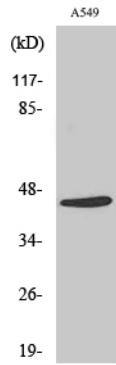
研究分野

補体と凝固カスケード;

画像データ



EtOPO 25 μ M で 24 時間処理した A549 細胞ライセートの MASP1 (重鎖、切断型 Arg448) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Cleaved-MASP-1 HC (R448) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析